

平成 19 年第 1 回 札幌市環境プラザの運営に関する懇談会報告

開催日：平成 19 年 3 月 19 日（月）19：00～21：15

場所：札幌環境プラザ環境研修室 1，2

参加者 23 名（（財）札幌市青少年女性活動協会より 5 名、札幌市より 3 名の出席を含む）

進行 懇談会幹事 岡崎

記録 懇談会幹事 新保、丸山

1 懇談会について（資料 1）

- ・岡崎さんから、下記内容について、パワーポイントで説明いただく
- 1) 懇談会、今までの流れ・概要について
- 2) 懇談会の成果について
 - ・「アースデイ」「キャンドルナイト」の取組を実験的に実施できた等
- 3) 懇談会参加者による協働実験 1 「アースデイ」実施状況を紹介
- 4) 懇談会参加者による協働実験 2 「キャンドルナイト」実施状況を紹介
- 5) 指定管理者導入前の懇談会と環境活動推進会議の流れを説明
- 6) 指定管理者導入後の懇談会と環境活動推進会議の流れを説明

2 参加者の自己紹介

以下 7 団体よりの活動紹介

1. 北海道環境教育ミーティング（HEEM） 馬場 美佳 さん
環境教育に何らかの関わり・関心を持つ人たちの交流の場として、年に 1 度開催。昨年 12 月に、3 日間の日程で開催した。シンポジウム、分科会の他、「体験屋台」と称して、環境教育の様々なプログラムを実際に大人や子どもに体験してもらう企画を実施して好評だった。
2. 北海道自然体験活動推進協議会（えぞ CONE） 北川 浩二 さん
「北海道の自然体験活動を盛り上げる」「指導者のスキルアップ」「指導者間のネットワーキング」を目的に作られた任意団体。年に 1 回、北海道コーンミーティングを開催。
3. アースデイ EZO 2007 実行委員会 宮本 奏 さん
4 月 22 日はアースデイ（＝地球のことを考える日）で、世界各地で、地球のことを考えるお祭りが開かれる。北海道で開かれるいろいろな企画を繋ぐことで、大きな力を生み出そうということで、アースデイ EZO 実行委員会が生まれ、活動している。4 月 22 日は、大通公園と円山動物園をオフィシャル会場として、いろいろな企画が行われる。ぜひ、参加を！
4. NPO 法人 ひまわりの種の会 新保 留美子さん
持続可能な社会へ向けて、自然エネルギーの普及啓発を中心とした環境保全活動を行っている団体。大通公園のホワイトイルミネーションの際に、ソーラーと風力による LED イルミネーションのツリーを飾ったり、市民の寄付によって円山動物園内に太陽光パネルを設置したり、市民に身近な場所で自然エネルギーの普及・啓発を行っている。また、ゲームを通して、環境を考えるプログラムも開発。

5. 環境研究会

中西 實代子さん

札幌消費者協会の中のグループ。ゲームを通してごみの少ない買い物について考える「買い物ゲーム」を市内の児童会館等で実施。また、環境プラザでは、青少年女性活動協会との共催で、月1度家庭でいらなくなったおもちゃを交換する「おもちゃのばくりっこ」を実施。予想に反して、小さな子どもを持つ両親の参加が多かった。おもちゃの修理を行う「おもちゃの病院」も同時開催。2007年度も実施予定。

6. 環境教育リーダー

高氏 明雄 さん

学校の「総合的な学習の時間」などへ、講師を派遣する制度。要望に応じたプログラムを工夫している。過去には、リーダー同士で自主研修を行っていた。自然観察の要望が多い。

7. アースデイ動物園実行委員会

伊藤 輝之 さん

4月22日のアースデイに、円山動物園を会場に、多彩な催しが計画されている。

参加者自己紹介(20:10~)

参加者の活動として、環境と福祉のリンクを考えた活動、産業考古学会の活動、北海道キャンプ協会、石狩バイオマスネットワークの取り組み、切手を使った環境保全活動(ポランスタンプ)などの報告・活動紹介があった。

3 環境プラザの今年度事業報告、次年度事業計画・方針等の簡易報告(指定管理者より)(20:30~)

札幌市教育センター、市民などとの連携事業についての報告があり、今後、共催事業に力を入れて行きたいこと、また継続事業のほかに、レベルアップ事業や新規の事業を展開していくことなどの報告があった。(配布資料2)

4 札幌市より次年度予定などの情報提供(札幌市環境局環境教育担当者より)(20:43~)

環境教育基本方針の改定にともなう事業の展開に力を入れていく。内容としては、学校における環境教育の推進、教員研修の実施、環境教育に利用するバスの借り上げ、各種施設連携のターミナルとしての環境プラザの活用などを考えていることなどの報告があった。(配布資料なし)

5 参加者より環境プラザ事業、運営などに関する提案や質疑(20:45~)

(Q:質問、A:回答 O:意見や提案)

Q 環境カレンダーの発行は継続しないのか?

A 2007年度は、継続したが、08年度以降は、指定管理者の発行としては継続しない。(指定管理者)

O 青少年科学館との連携を考えていくことを提案したい。

(例えば、科学館では、3月に「環境」をテーマにした「科学の祭典」が開催される。今後、双方で連携していくことが可能ではないか?)

Q 北海道環境教育ミーティングの日曜日の行事を環境プラザでできないか?

A 共催依頼をすることで、プラザの果たすべき役割と合致すれば、共催事業としての開催の可能性はある。その場合は、広報、会場利用、スタッフの派遣などでサポートが可能である。(指定管理者)

O 北海道環境サポートセンターでは、市民活動に対して可能なバックアップの体制や内容の

例を具体的に提示してくれる。環境プラザでも積極的に提示していただきたい。

- 環境プラザは、市、指定管理者、NPO 法人での協働の運営がなされている。また「みんなでやろう」というメッセージを込めた管理者からの広報誌も発行されている点などがすぐれている。これをLプラザの4施設全体に広げていただきたい。
- 環境プラザで、定期的な取り組みがあると、来場者が増えるのではないか。(例えば、「読み聞かせ」や「おもちゃのばくりっこ」、子どもや一般が参加できる展示、ポイントカードなど)

21:15 終了